

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	札幌市	代表者名	秋元 克広
担当者部署	まちづくり政策局	連絡先電話番号	011-211-2361
担当者役職	事務職員	担当者氏名	菊地 佑輔
住所	060-8611 北海道札幌市中央区北1条西2丁目		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	織田 友理子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	障がいや高齢など、何らかの理由により移動にためらいのある方々（移動躊躇層）がストレスなく移動を楽しめる社会の実現に向けた、情報のバリアフリーや心のバリアフリーの重要性等について、車いす当事者である自身の実体験も踏まえた分かりやすい説明及び力強いメッセージをもって発信していただいた。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月8日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時20分	17時30分	
			活動時間（分）	490	
3-2. 派遣場所	会場名	札幌エルプラザ	最寄駅	札幌駅	
	所在地	札幌市北区北8条西3丁目28	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	イベント参加者（車いすユーザー当事者、その介助者、バリアフリー等に関心のある健常者）	49人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	札幌市では本年7月から「ユニバーサル地図/ナビ」サービスの提供を開始した。地図上には、各公共施設のバリアフリー対応状況に加え、目的地までの最短徒歩経路と「一般社団法人WheelLog」が開発・運営する「WheelLog！アプリ」により収集されたデータ（ユーザーが投稿したバリアフリー情報や車いす走行ルート）が表示されるというものであるが、札幌市でのWheelLog！アプリユーザーが少なく、データが不十分である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	一般社団法人WheelLog代表者である織田氏より、「WheelLog！アプリ」設計理念や、情報のバリアフリーおよび心のバリアフリーの重要性等についてご講演いただき、本イベントの目的・意義について、イベント参加者の理解を深めた上で、車いすでの街歩きを実施し、データ等を収集する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	イベント前半に行った織田氏及び札幌市長とANAグループ職員とのトークイベントの中で、まちのバリアフリー化に向けた課題解決におけるアドバイスを、ご自身の体験や他都市事例も踏まえてご発言いただいた。 後半の街歩きイベントでは、イベント参加者からの、車いすでの街歩きを通じて気づいた問題点・課題などの発表についてご講評をいただくとともに、情報のバリアフリーおよび心のバリアフリーの重要性等についてご講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	情報のバリアフリーおよび心のバリアフリーの重要性等について、イベント参加者の理解が深まった。また、イベントを通じて、バリアフリー化に向けた問題点・課題を発見することができたほか、多くのバリアフリー情報データの収集が進み「ユニバーサル地図/ナビ」の情報拡充につながった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	バリアフリー情報の収集が進んだが、継続的な情報収集の仕組みや、情報更新の方法については、引き続き検討を行う必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は現在集計中	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	次年度以降も継続してバリアフリー情報提供サービスの充実を図る。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

